

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられた皆様へ

当院では下記の臨床研究に用いるため、患者さんの試料・情報を利用させていただいておりますので、お知らせいたします。

研究課題名： 腹腔細胞診陽性(CY1)胃癌に対する集学的治療の検討

研究の目的

胃癌では、腹腔細胞診陽性(CY1)は遠隔転移と同様のステージ4という扱いですが、ほかの転移を有しない場合、胃切除と術後化学療法により長期生存が得られる可能性があります。しかしながらその治療方針は定まっておらず、治療成績の向上のためには何が重要かを考える必要があります。

研究実施期間： 2022年 11月 21日 ~2024年 12月 31日

対象となる方： 2005年1月から2021年12月までに胃癌に対して胃切除術を施行し、腹腔細胞診陽性と診断された方

利用させていただきたい試料・情報について

(他機関に提供する場合、提供先機関の名称及び当該機関の研究責任者氏名含む)

当院のカルテに記録されている情報のうち、病理結果、手術後に行った治療、再発の有無について、標記研究課題実施のために利用します。

具体的には、どの術後治療と生存率について、再発後の治療については間接的に影響する項目として統計解析的手法を用いて比較することで、術後の予後の延長(生存率の向上)に寄与する因子を明らかにしたいと思います。

なお、利用に当たっては氏名、住所、電話番号、患者番号等個人を特定できる情報を削除し、本研究のための固有の番号を付して(これを匿名化といいます)、行います。

研究成果については、学会発表や論文投稿等の方法で公表されますが、その内容から対象者個人が特定される事はありません。研究から得られた個別の結果については原則としてお答えしませんが、希望される方は下記連絡先までご連絡ください。

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合や、試料・情報の利用に同意いただけない患者さん/その代理人の方は、以下の連絡先までご連絡ください。

研究への利用に同意いただけない場合、当該患者さんの試料・情報については対象から除外します。ただし、連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承願います。

本件連絡先

消化器、乳腺、甲状腺外科 吉田枝里 電話：0172395079
eyoshida@hirosaki-u.ac.jp